

園内ちょこっと探検記 10

2023.2.28

もうすぐお別れ

卒園式が近くなって、もうすぐお別れ。

6年間見守った子供もいて、姿が見えなくなってしまうと、なんだか寂しい。そんな想いで徘徊していると、そうではないよと挨拶してくる子どもたちに出会いました。人通りの絶えた昼間、階段の踊り場美術館の壁、卒園してゆく子供たちの描いた自画像が語り掛けてきます。



これは、子どもたちが考える現在の自分の到達点。

これから未知の世界へ乗り込んで、その世界で一番幼い者として生きてゆく人々の姿。しかし、その肖像に恐れや不安のかけらはなく、ただ前を見据える瞳と口元の微笑みがあるのみです。まだ始まったばかり、前進あるのみ、それぞれの表情が強くそのことを訴えかけているように見えてなりません。私は一抹の寂しさを振り払いました。

皆さん、ぜひ一度、いさぎよい決意表明に耳を傾けに行ってみてください。

By ちいぢ